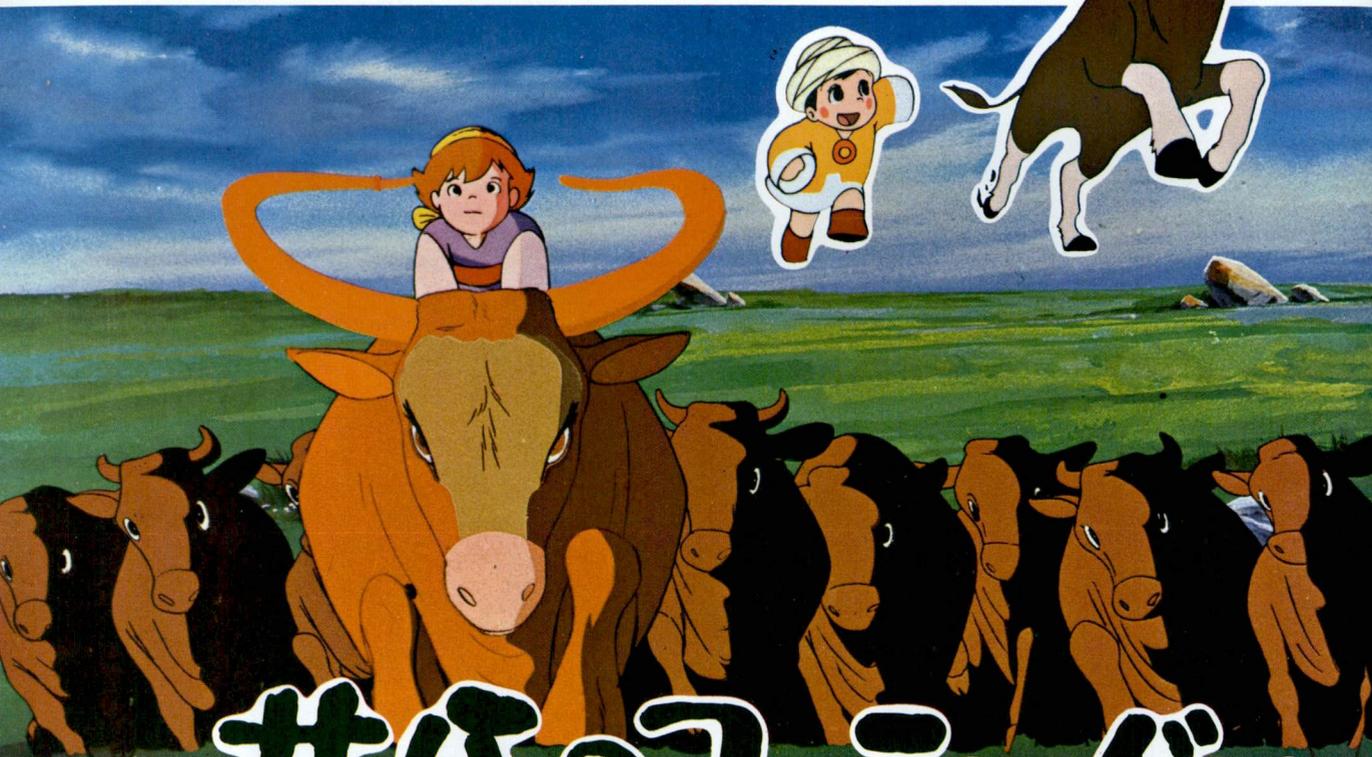


文部省選定

中央児童福祉審議会推薦

優秀映画鑑賞会推薦



# 草原の子 テングリ

アニメーション映画

16ミリ・カラー・21分 130,000円 VTR 50,000円

■すいせんのことば

映画評論家 飯田心美

ひとくちにいえばのどかな愉しさに溢れたアニメーションである。物語の舞台が中央アジアの草原で、そこに生きる遊牧民の日常が時にユーモラスに、時に切迫した気分で語られる。話はまだ彼等が広い草原に水と牧草を求め牛やヤギなど家畜群と共に移動していたむかしのことで、主人公のテングリは両親を失った孤児らしく仔牛のタルタルが無二の仲よし。

ところがこの二人の身の上に哀しいことが起る。草が生茂る夏はよかったが食べ物がなくなる冬になったとき村人はタルタルを殺して食べる相談を始めた。これをきいたテングリはタルタルの命を救うため思い悩む。これが一篇のヤマ場の入口で涙ながらに別れ別れとなったふたりが数年後に再会したときどんな変化、どんな運命が待っていたかがクライマックス。だが、ここではその結末は伏せて置く。

中央アジアの草原といえばロシアのボロチンのその地域に取材した有名な交響詩がある。東洋的色彩の濃い曲だが、その一節を連想しながら見ていればこのアニメの魅力は倍加してくること疑いなし。また作画と動きにも童話絵本の夢と素朴さが流れ込んで童心の世界を再現してくれる。

